

# 本日、**労働千葉**の第2回臨時大会を成功させよう



79.5.31  
No. 134

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)  
(鉄電)二五八・九(公衆電話)22七二〇七

## 勝利の体制を更にうち固め、 労働大改革にうって出よう！

大会に結集された代議員、傍聴者の皆さん！ 職場で大会の成功を見守る組合員の皆さん！  
まずなによりも本日の労働千葉第二回臨時大会は、「本部」暴力集団による大会破壊を策したあらゆる卑劣な策動を粉砕して圧倒的に開催されたことを確認しよう。この大会が開催されたこと、そして成功しつつある事実こそ、3・30結成大会をもって労働のセクト的私物化と暴力支配・労働運動の変質を阻止し、激動の八〇年代を闘う労働運動の再生を目指す闘い、労働大改革運動の大前進を示すなによりもの証左である。全組合員の皆さん。本日の大会を、熱気溢れる討論を通して圧倒的に成功させようではないか。大会の成功をもって名実ともに労働大改革の支柱、労働千葉の組織体制をより強固に確立し、「本部」暴力集団がなによりも怖れる「労働総連合」結成の道へ一歩はく進しよう。

### 労働大改革運動を更に前進させよう！

第一に、3・30結成大会以降の、「本部」暴力集団による労働組合としてあるまじき七九春闘放棄、暴力破壊「オルグ」、窃盗行為等々、国鉄当局・権力の庇護のもとに行われた組織破壊攻撃をね返し、労働組織売り渡しを策した「本部」暴力集団の国内革同(日共グループ)との結託等、右翼暴力集団や鉄労をけるかたしのご反階級的行為の数々の攻撃にも屈せず闘い抜いたわれわれの勝利の総括を全組合員の確信としてうち立てることである。

ここにち労働千葉の着実な前進と対比して、「本部」暴力集団の凋落ぶりは目をおおむばかりである。4・28、5・1の四日間「オルグ」で全国から嫌がる組合員を動員にかり出し、「千葉再建の旗上げをやる」等と大言壮語をしたまではよいが、労働千葉一四〇〇組合員の創意溢れる闘いによって「旗上げ」なるものは見事に破産した。第一次全国動員以降のべ「三万人」の組合員を投入し、暴力とデマ・ペテンをふりまいても、「千葉再建」の夢は水泡のごとく吹きとんでしまったのである。こうした敗北の事実を総括できぬ「本部」暴力集団は、「千葉の職場に入れたことが成果だ」「総括は後日行う」と言い逃がれを行い、その言葉のはしから「千葉再建は至難であり困難である」と言わざるを得ないところまで追い込まれているのだ。かくして、わが労働千葉の労働運動の変質、私物化、暴力支配許すまじの怒りにもとづく「労働大改革運動」の正しい路線は着実に前進しているのだ。

### 労働基本権の完全確立をかちとろう！

第二に、本日の大会の成功をもって公労委申請

1 認可をかちとる諸条件を整備することである。

わが労働千葉に対して、「本部」暴力集団は、組織破壊攻撃がごとごとく破産するなかにあつて労働千葉破壊攻撃の唯一のよりどころを公労委からも見放された「幻の集団」、団交権もない「徒党集団」とののしっている。

団体交渉についてはすでに「日刊労働千葉」、「交渉ニュース」で明らかにしてきた通り各支部代表者も参加する中で「四期昇給」「二線高架切換」「夏季輸送計画」等々の団交を連日行い、当局を追い込み、大いなる成果をかちとっているのである。

これに対し「本部」暴力集団は現場・生産点のことなどは何も考えず、むしろ「交渉」をも利用して、当局におもねて労働千葉破壊の具にしていくのだ。「二線高架切換交渉」を一度たりとも行わない「本部小屋原交渉団」は、法的にはなんら効力を持たないことを百も承知して「小屋原大森局長名で三六協定を締結せよ」と無理強いし、「二線高架切換線見訓練は業務命令を発して行え、従わないものは処分せよ」と言い放つという反労働者の行為を行っているのだ。かかる「本部」暴力集団の当局の手を借りた労働千葉破壊を許してはならない。

本日の大会で、規約・規則一部改正を満場一致で決定し、公労委認可のすべての諸条件を整え、六月五日、公労委認可をかちとり、名実ともに労働千葉の組織体制を盤石に打ち固めよう。

**サークル協だより**  
先に、労働千葉サークル協指(二号)で連絡者の**野球大会(88・ソフトボール大会(日時未定))**の実施細目について、**主将会議**を開催しますので、各支部の主将は出席して下さい。  
●日時 六月四日、十三時  
●場所 動力車会館